

平成25年度春の叙勲・褒章受章者

4月29日に叙勲及び褒章受章者が発表され、以下の会員が榮に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲者の横顔



旭日双光章（弁理士業務功労）

ふく だ けん ぞう
福 田 賢 三

学歴・職歴

昭和36年 学習院大学理学部 卒業
(現在) 福田特許事務所

弁理士会歴

昭和52年 弁理士登録 (8266号)
昭和56年～昭和57年 弁理士職域委員会 副委員長
昭和58年～昭和59年 弁理士会常議員
昭和58年～昭和59年 企画委員会 副委員長
昭和59年～昭和60年 弁理士業務対策委員会 副委員長
昭和62年～平成1年 弁理士会常議員
昭和62年～昭和63年 特許制度昂揚普及委員会 副委員長
昭和63年～平成2年 弁理士制度90周年記念事業実行委員会 副委員長
平成2年～平成3年 特許制度昂揚普及委員会 副委員長
平成3年～平成4年 特許事務報酬制度委員会 副委員長
平成4年～平成5年 特許制度昂揚普及委員会 副委員長
平成5年～平成6年 綱紀委員会 委員長
平成7年～平成8年 工業所有権に関する裁判外の紛争処理等検討委員会 副委員長
平成9年～平成10年 弁理士法改正特別委員会 副委員長
平成11年～平成12年 工業所有権仲裁センター支援委員会 副委員長
平成14年～平成15年 福利厚生共済委員会 委員長
平成15年～平成16年 総合政策検討委員会 副委員長
平成16年～平成17年 日本弁理士会副会長
平成17年～平成18年 選挙管理委員会 副委員長
平成18年～平成19年 財務委員会 副委員長
平成19年～平成20年 審査委員会 委員 (部長)
平成20年～平成21年 審査委員会 委員 (部長)
平成20年～平成22年 防災会議 副議長
平成23年～平成25年 日本弁理士会常議員
平成23年～平成24年 常議員会第四委員会 委員
平成23年～平成24年 防災会議 副議長
平成24年～平成25年 常議員会第一委員会 委員

公職

平成17年7月～平成17年11月 工業所有権審議会臨時委員
平成17年12月～平成18年11月 工業所有権審議会臨時委員

賞

平成 1 年 弁理士制度 90 周年記念式典特別功労者表彰
平成 6 年 弁理士会特別功労者表彰
平成 12 年 弁理士会永年功労者表彰
平成 15 年 日本弁理士会特別功労者表彰
平成 17 年 日本弁理士会特別功労者表彰
平成 19 年 日本弁理士会感謝状
平成 21 年 弁理士制度 110 周年記念式典特別功労者表彰

受章に浴して

この度、平成 25 年春季の叙勲・褒章制度において、囿らずも旭日章の榮に浴し、身に余る光榮に存じます。

これもひとえにお付き合い頂いております弁理士の先生方、友人、家族その他多くの皆様方のご支援、ご援助の賜物と深く感謝致しております。

今回の授章にあたり多くの皆様方からご丁寧なご祝意をいただきまして大変有り難く、厚く御礼申し上げます。

私の小学生時には、一般社会において特許、弁理士という認識が全くなかったのですが、父が自宅の玄関先に大きな文字で「福田特許」という看板を出していたら、小学生の悪童共が私に「特許」というあだ名を付けたことを記憶しています。

私が大学 4 年の時に或る大手の電気企業に就職が内定しましたが、父や母が父の特許事務所に勤務してほしいと懇願されたので、大学の物理科の主任に就職内定先の企業に就職をしない事を伝えましたら、主任が「今後その企業から求人の斡旋がこない」と叱られたことを記憶しております。

今では、企業に就職しないで、特許事務所で知的財産に関与している方が性格に合っていたと思います。

今後、知的財産において更なる活躍と思いますが、年には勝てず、自宅で家族と共に人生を楽しみたいと思っております。



旭日双光章 (弁理士業務功労)

すぎもと
杉本 ゆみ子

学歴・職歴

青山学院大学 文学部 英米文学科 卒業
一橋大学大学院国際企業戦略研究科 修了
(現在) 杉本国際特許事務所

弁理士会歴

昭和 53 年 弁理士登録 (8375 号)
昭和 60 年～昭和 62 年 弁理士会常議員
昭和 61 年～昭和 63 年 商標委員会 副委員長
昭和 63 年～平成 1 年 商標委員会 委員長
平成 2 年～平成 3 年 商標委員会 副委員長
平成 3 年～平成 4 年 商標委員会 副委員長
平成 5 年～平成 6 年 方式事項検討委員会 副委員長
平成 11 年～平成 12 年 商標委員会 副委員長
平成 13 年～平成 14 年 総合政策検討委員会 副委員長
平成 14 年～平成 15 年 総合政策検討委員会 副委員長
平成 16 年～平成 17 年 日本弁理士会副会長
平成 17 年～平成 18 年 弁理士推薦委員会 委員長
平成 17 年～平成 18 年 日本弁理士会執行補佐役
平成 18 年～平成 19 年 弁理士推薦委員会 委員長
平成 22 年～平成 23 年 次年度会務検討委員会 委員長
平成 23 年～平成 24 年 日本弁理士会執行理事
平成 23 年～平成 25 年 日本弁理士会常議員
平成 24 年～平成 25 年 常議員会調整委員会 委員長

公 職

平成 10 年 1 月～平成 11 年 12 月 弁理士審査会委員
平成 23 年 1 月～平成 23 年 11 月 工業所有権審議会臨時委員
(弁理士審査分科会懲戒部会)
平成 23 年 12 月～平成 25 年 12 月 工業所有権審議会委員 (弁理士審査分科会)

賞

平成 3 年 弁理士会特別功労者表彰
平成 12 年 弁理士会感謝状
平成 14 年 日本弁理士会永年功労者表彰
平成 17 年 日本弁理士会特別功労者表彰
平成 18 年 日本弁理士会特別功労者表彰
平成 21 年 弁理士制度 110 周年記念式典特別功労者表彰

受賞に浴して

この度、平成 25 年春の叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。ひとえに多くの方々のご支援とお力添えの賜物と感謝申し上げます。

受章にあたり、日本弁理士会、弁理士の先生方をはじめ、関係諸団体の皆様からご丁寧な祝意と温かい励ましのお言葉を戴き、大変有難く心より御礼申し上げます。

かえりみますと、昭和 42 年 4 月に、弁理士という職業を知らぬまま、友人の紹介で北村特許事務所 (当時は外神田にありました) に勤め始めたのが弁理士業界への第一歩でした。数年後に受験勉強を始めて、受験中先輩の方々にご指導いただき、また、多くのゼミ仲間と励ましあい、昭和 53 年に弁理士登録をするに至りました。

弁理士の委員会活動は、商標を中心として行ってきましたが、商品／役務の国際分類の採用、サービスマーク制度の導入、その他の商標法の改正に携わることができました。特許庁関係者の方々にも各種会合でお世話になりました。

今までの私の活動を支えていただいた周囲のすべての皆様に心から感謝申し上げますと共に、今後ともご指導、ご支援いただけますようお願い申し上げます。

微力ではありますが、知的財産の分野での活動のお役に立つよう尽力させていただき所存でございます。



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

しち じょう こう じ
七 條 耕 司

学歴・職歴

昭和 40 年 岩手大学 工学部 電気工学科 卒業
昭和 42 年 特許庁入庁
昭和 46 年～53 年 審査官
昭和 53 年～55 年 医療情報システム開発センター出向
昭和 55 年～57 年 審査官
昭和 57 年～59 年 審判官
昭和 59 年～平成元年 審査官
平成元年～ 3 年 工業所有権協力センター出向
平成 3 年～ 4 年 審査長
平成 4 年～ 7 年 裁判所調査官
平成 7 年～ 8 年 審判長
平成 8 年 特許庁退官
(現在) 英知国際特許事務所, みどり特許事務所

弁理士会歴

平成 8 年 弁理士登録 (10833 号)

公 職

昭和 58 年 10 月～昭和 59 年 3 月 工業所有権問題長期ビジョン委員会パーパレス部会委員
昭和 59 年 4 月～11 月 弁理士審査会臨時委員
平成 3 年 9 月～平成 4 年 8 月 国家公務員採用 I 種試験 (電気・電子) 試験専門委員

受章に浴して

伝達式当日、安倍首相の名で経済産業副大臣から勲記・勲章の伝達があり、その後、夫婦共々皇居に参内し、天皇陛下に拝謁の栄を賜り、大変感激致しました。

この度の叙勲にあたりまして、特許庁、日本弁理士会、諸先輩の方々、友人及びその他の多くの関係者の皆様から賜りました多年にわたるご指導、ご支援に心からお礼申し上げます。

特許庁に昭和 42 年入庁し、平成 8 年に退職するまでの 29 年間、特許審査、審判業務及び裁判所調査官業務と貴重な経験をさせて頂きました。先達が営々と築き上げた伝統ある知的財産制度を支える業務に長年に亘り携わることができ、その結果として、このような栄誉に浴することができましたことは、まさに幸運であったと思わざるを得ません。

今後とも、今までの経験を生かして知的財産業務に微力ながら尽力して参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

たか はし のり お
高 橋 詔 男

学歴・職歴

昭和 41 年 福井大学 工学部 繊維工学科 卒業
昭和 41 年 特許庁入庁
昭和 45 年～ 54 年 審査官
昭和 54 年～ 56 年 審査基準室室長補佐
昭和 56 年～ 58 年 審判官
昭和 58 年～ 62 年 審査官
昭和 62 年～平成 1 年 上席総括審査官
平成 1 年～ 2 年 審査第 3 部審査長
平成 2 年～ 5 年 審判部審判長
平成 4 年～ 10 年 神奈川大学非常勤講師 (工業所有権担当)
平成 5 年～ 8 年 審判部審判長 (部門長)
平成 8 年 特許庁退官
平成 8 年 志賀国際特許事務所入所
(現在) 特許業務法人 志賀国際特許事務所

弁理士会歴

平成 8 年 弁理士登録 (10857 号)
平成 16 年 特定侵害訴訟代理業務付記登録

公 職

平成 6 年～ 7 年 弁理士審査会委員
平成 15 年～ 23 年 東京大学学生発明コンテスト審査委員

受章に浴して

この度、平成 25 年春の叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。これもひとえに、特許庁在職中にお世話になった皆様及び弁理士として育ていただきました方々のご指導の賜と、心より感謝申し上げます。

また、今回の叙勲にあたり、弁理士会を始め多くの関係各位からご丁寧なる祝意をいただき、誠にありがとうございました。

振り返ってみますと、昭和 41 年春福井より上京し、緊張して旧特許庁舎の門をくぐったことを鮮明に記憶しています。当時は重化学工業の発展期に当たり、重厚長大といわれた分野の出願が急増し、審査部の課が次々と増えた時代でした。その後も我が国は、高品質化、小型化、高効率化へと産業構造が変化し、軽薄短小といわれた分野が高度成長時代を支えました。特許出願も右肩上がりに増加して審査遅延が国際問題になり、経済のグローバル化に伴い国際調和を図る必要から何度も特許制度が改正されました。この間の時代の変化を審査を通して感じることができ、楽しく仕事ことができました。

平成 8 年からの弁理士の仕事は、立場は変わりましたが発明に携わる点では同じです。これからは、有効な権利の取得とその活用に向けて努力していきたいと思えます。今後ともご指導賜りますよう、お願い申し上げます。



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

その だ とし お
園 田 敏 雄

学歴・職歴

昭和 40 年 名城大学 理工学部 機械工学学科 卒業
昭和 48 年 中央大学法学部卒業
昭和 42 年 特許庁入庁
昭和 54 年 科学技術庁原子力安全局へ出向
昭和 56 年 特許庁へ出向
特許等審査官補 (一般機械)
特許庁審査官 (一般機械, 流通機器)
科学技術庁課長補佐 (原子炉等規制課)
特許庁審判官 (運輸)
上席総括審査官 (産業機械))
審査第 3 部審査長 (一般機械, 動力機械)
特許庁審判長 (運輸, 流通機器)
平成 9 年 特許庁退官
平成 9 年～ 弁理士
平成 17 年～平成 23 年 志學館大学講師 (非常勤)
(現在) 園田特許事務所

弁理士会歴

平成 9 年 弁理士登録 (11038 号)

受章に浴して

この度は、平成 25 年春の叙勲の榮譽に浴し、身に余る光榮に存じております。
これも偏に、特許庁在職中の先輩、同僚、後輩の方々、お世話になった弁理士の皆様、並びに推薦して下さった関係者の方々等のご指導、ご支援、ご高配の賜と深く感謝致しております。

また、今回の受章に際し、弁理士会をはじめとする多くの弁理士関係の団体及び特許庁在職中にお世話になりました皆様方から、ご丁寧なる祝意を頂き誠に有り難う御座いました。

振り返ってみますと、昭和 42 年に通商産業省に採用され平成 9 年に退職するまでの 30 年半にわたり、審査、審判の特許業務等に携わって参りました。

そして、平成 9 年に退職すると同時に特許事務所を開設し、以来 16 年、弁理士としてその業務に精励し現在に至っております。

長い歳月を本当に恵まれた職場で素晴らしい仕事に精一杯尽力できたことを今更のように有り難く本当に幸せに思います。

それほど時間の猶予はありませんが、微今後も力ながら一弁理士として知的財産制度の発展に尽力する所存です。

これまで同様、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

あき よし たつ お
秋 吉 達 夫

学歴・職歴

昭和 42 年 室蘭工業大学 開発工学科 卒業
(現在) 佐藤特許事務所埼玉支所

弁理士会歴

昭和 42 年 4 月 特許庁入庁 審査第 2 部建設
昭和 46 年 4 月 審査第 2 部 審査官 (建設)
昭和 49 年 4 月 審査第 2 部 審査官 (建築)
昭和 52 年 4 月～昭和 53 年 通産省 工業技術院 (技術調査課) 出向
昭和 57 年 10 月 審判部 審判官 (第 10 部門)
平成 3 年 7 月 審査第 2 部 審査監理官 (建築)
平成 4 年 10 月 審判部 審判長 (第 10 部門)
平成 6 年 1 月～平成 8 年 12 月 弁理士審査会委員
平成 7 年 1 月 審判部 部門長 (第 10 部門)
平成 10 年 1 月 特許庁退官
平成 10 年 1 月 高橋・秋吉特許事務所入所
平成 12 年 1 月 秋吉特許事務所
平成 23 年 1 月 佐藤特許事務所 埼玉支所
平成 10 年 弁理士登録 (11147 号)

受章に浴して

このたびの叙勲に際し、弁理士会を始め多くの方々よりご丁寧なる祝意を頂き
洵に有難く、心から感謝、御礼申し上げます。

特許庁に入庁から退官までの 30 年余りを特許の審査・審判をする側として、ま
た、退官後の 15 年余りを弁理士として知的財産関連の業務に携わることができま
したことは、これもひとえに多くの方々のご指導とご支援の賜物と深く感謝申し
上げます。

今後は、このたびの叙勲を機に微力ながら知財制度の発展のため、弁理士の一員
として職責を果たしていく所存ですので、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

褒章者の横顔



黄綬褒章（弁理士業務功労）

やま うち やす のぶ
山 内 康 伸

学歴・職歴

昭和 47 年 拓殖大学 政経学部 卒業
(現在) 特許業務法人 山内特許事務所

弁理士会歴

昭和 58 年 弁理士登録 (8922 号)
平成 5 年～平成 6 年 中国・四国委員会 副委員長
平成 7 年～平成 8 年 中国・四国委員会 副委員長
平成 9 年～平成 10 年 中国・四国委員会 委員長
平成 9 年～平成 10 年 「弁理士業務の実態及び意識調査」支援委員会 副委員長
平成 10 年～平成 12 年 弁理士会常議員
平成 10 年～平成 11 年 常議員会第二委員会 委員
平成 11 年～平成 12 年 常議員会第二委員会 委員
平成 11 年～ 弁理士会研修所実務修習講師
平成 13 年～平成 14 年 中国・四国部会 副部長
平成 16 年～平成 17 年 中国・四国部会 副部長
平成 17 年～平成 18 年 四国支部 副支部長
平成 18 年～平成 19 年 四国支部 副支部長
平成 19 年～平成 20 年 四国支部 副支部長
平成 19 年～平成 20 年 ADR 推進機構 副委員長
平成 20 年～平成 21 年 四国支部 支部長
平成 21 年～平成 22 年 四国支部 支部長
平成 21 年～平成 23 年 日本知的財産仲裁センター四国支所 支所長
平成 22 年～平成 23 年 四国支部 副支部長
平成 23 年～平成 24 年 四国支部 支部幹事
平成 23 年～平成 25 年 日本知的財産仲裁センター四国支所 副支所長
平成 24 年～平成 25 年 四国支部 副支部長

公 職

平成 13 年～ 香川大学客員教授
平成 18 年～ 徳島大学非常勤講師
平成 17 年～平成 23 年 四国知的財産戦略本部に本部員兼幹事として参加
平成 19 年 特許庁委託「地域における知財戦略支援人材の育成事業」全体委員会委員
平成 19 年 四国経済産業局「知的財産戦略事例集」委員会委員長
平成 20 年～平成 21 年 知的財産戦略策定支援人材育成事業（四国）全体委員会委員長
平成 22 年 知的財産戦略支援モデル調査事業（四国）全体委員会委員長
平成 22 年 四国産学連携中小企業応援センター連絡協議会委員長

懇談会

平成 16 年～平成 17 年 弁理士会と特技懇との懇談会 副委員長

賞

平成 11 年 弁理士会特別功労者表彰
平成 12 年 弁理士会特別功労者表彰
平成 20 年 日本弁理士会永年功労者表彰

平成 20 年 日本弁理士会特別功労者表彰

平成 22 年 日本弁理士会特別功労者表彰

受章に浴して

勤労学生をしていた頃から、やりたいと思ったことをやりたいと思ったときに全部やってこれたから良い人生だとは思っていましたが、社会的な榮譽とは程遠いと思っていました。

それが思いもかけぬ榮譽を頂きましたので、本人も周りも驚いています。思えば、人生の節目節目で多くの人にお世話になり育てて頂いたお蔭だと思えます。心より感謝したいと思います。

また、事務所開設後は、両親や妻にはいろいろと負担もかけました。礼をいいます。事務所のスタッフの皆さんにも大変お世話になりました。私が今日あるのは皆さんのおかげです。これからも面倒を見て下さい。

そして、弁理士会の会務で一緒させて頂いた多くの先生方にも大変お世話になりました。お礼申し上げます。これからも四国の地にあって、知的財産を通じて四国と弁理士会の発展に尽力したいと思っています。

皆様、どうぞ今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。